

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス すてっぷ		公表日		令和8年3月	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	2		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	2	放課後等デイサービスの運営基準に定められた人員配置基準に沿って、適正な職員配置を実施しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3		館内はすべてバリアフリー仕様となっています。整理された空間づくりを意識し、利用者にとって分かりやすい環境構成に取り組んでいます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3		毎日清掃を実施しています。活動内容や支援場面に応じて空間を柔軟にアレンジしています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3		学習や集中を要する場面に対応できるよう、必要に応じて個室の利用を可能としています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3		日々のミーティングや支援者会議を通じて目標の共通理解を図り、定期的な振り返りを実施しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		保護者様からの評価表や日頃のご意見をもとに職員間で業務改善に取り組み、改善が難しいケースについては関係者と連携しながら対応しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		日々のミーティングに加え、月1回の定例ミーティングを通じて職員の意見を反映し、業務遂行や改善に活かしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3		第三者評価は現時点では行っておりません。必要に応じて検討いたします。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		月1回の研修を実施し、児童の障害特性への理解や衛生管理等のスキル向上に活用しています。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3		支援プログラムの規定に基づいて作成し、公表を行っています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3		モニタリング会議を開催し、利用者様や保護者様のご意見を聴取したうえで計画に反映しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		モニタリング会議に先立ち支援者会議を開き、既存の個別支援計画の進捗を確認して計画案を策定しています。さらに検討会議を経て全職員で実行計画を立て、共通認識のもと支援を実施しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		日々のミーティングで計画に記載された支援内容を確認したうえで、支援にあたっています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		定期的なアセスメントの実施に加え、日常の行動観察を行い記録として残しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3		個々のニーズを踏まえ、各支援内容や5領域を考慮しながら、当施設で実施する支援を具体的に設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3		日々のミーティングで意見やアイデアを出し合いながら、プログラムを作成しています。	

又 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	5領域に対応した療育トレーニングを多様に組み合わせ、活動にバリエーションを持たせています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	個別活動と集団活動をバランスよく取り入れるため、個別支援計画に双方を反映しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	始業前のミーティングで申し送りをを行い、当日の利用児童・欠席児童の確認や支援内容について協議しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	終業後のミーティングで一日の振り返りを行っています。また、当日勤務していない職員にも情報が行き渡るよう、特記事項や活動内容を記録し共有できる体制を整えています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	個別支援計画の進捗状況や当日の支援内容を個別に記録し、集団活動については療育日誌に記載しています。また、特記事項は別途記録して業務改善や支援技術の向上に活用しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	半年ごとのモニタリングを実施するとともに、必要に応じて随時モニタリング会議を開催しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3	利用者様の発達段階に応じて、多角的な支援を組み合わせ実践しています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	可能な限りご本人にモニタリングへ参加いただき、支援内容の決定に関わっていただいています。また、余暇や集団活動においても利用者様ご自身の選択を尊重しています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	児童発達支援管理責任者および直接支援を担当する職員が会議に出席しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	必要に応じて、関係する機関と連携を図っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	FAX・電話・メール等を活用した連絡窓口を設け、学校との情報共有に努めています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	担当者会議を開催し、関係機関との情報共有を行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	併設の就労支援事業所等と日常的に連携を図っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	継続的に連携を取りながら利用者様や地域の状況について情報を共有し、研修への参加を通じて支援者の技術向上に取り組んでいます。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	長期休暇期間を中心に、積極的に交流機会を設けています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	地域の児童発達支援管理責任者会議に参加し、情報共有のほか今後の課題や不足する社会資源等について協議しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	連絡アプリや送迎時のやり取りを通じて、その日の様子や活動内容を保護者様にお伝えし、利用者様の状況を共有しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	作業療法士・理学療法士等の専門職によるアドバイスを含む相談を実施し、家族支援に取り組んでいます。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	利用開始時にご説明を行い、いつでも閲覧できるよう事業所内に掲示しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	個別支援計画案を作成したうえで、ご本人や保護者様のご意向を確認し、計画に反映しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3	個別支援計画の作成後、内容を丁寧に説明し、ご理解・ご同意のうえで署名をいただいています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3		相談窓口を設置してご相談に対応し、必要に応じて専門職との連携やリファーを行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3			今後必要に応じて保護者様の活動支援等、検討いたします。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		苦情解決の担当職員を配置し、迅速な対応ができる体制を整備しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3		月初めのおたよりの配布や連絡アプリを通じて、各種情報を発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		個人情報保護に関する研修を受講し、全職員が情報の取り扱いについて共通の認識を持っています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		各利用者様の理解度に合わせて、平易な言葉や効果的な伝達方法を用いてコミュニケーションを図っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3		施設で開催する祭典等の行事に地域住民の方々にもご参加いただいています。	今後はより多くの行事を計画し、地域住民との交流が盛んに行われるようにしていきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		各種マニュアルを整備し、定期的な訓練を実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3		業務継続計画（BCP）を策定し、定期的な見直しと訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3		相談支援専門員やご家族からの情報提供を通じて、投薬情報や病状を把握し、職員間で共有しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3		アレルギーのある利用者様については、医師の指示に加えてご家族からの情報も踏まえ、細心の注意を払って食事や活動を提供しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		置き去り防止マニュアルの整備や防止装置の導入により、車内や外出先での置き去り防止を徹底しています。また、安全管理・衛生管理に関する研修を定期的にも実施しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3		安全計画に基づく情報を個別支援計画に記載し、保護者様にご了承いただいています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		事故対応委員会に参加し、ヒヤリハット事案について再発防止策を検討する会議を実施しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		虐待防止委員会に参加し、事例の報告や発生防止に向けた協議を行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3		原則として身体拘束を行わない方針のもと支援を実施しています。	今後やむを得ず身体拘束が必要と判断された場合は、保護者様に承諾を得たうえで計画に記載します。	

従業員向け	放課後等デイサービス評価表
-------	---------------

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	2	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	2	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3		

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		

53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3		